

安定的な資産形成について考えるシンポジウム

金融庁と近畿財務局は、企業の福利厚生を担当者やファイナンシャル・プランナーをはじめ、広く一般社会人等の皆様に、来年1月から始まる「つみたてNISA」の活用等を通じた「安定的な資産形成」について理解を深めていただく観点から、共同でシンポジウムを開催しました。

開催概要

日 時	平成 29 年 11 月 16 日 (木) 13 時 30 分～15 時 35 分
内 容	第 1 部 ●基調講演 今知っておきたいお金の話 副題：資産形成の必要性 講演者 深野 康彦 (有限会社ファイナンシャルリサーチ代表) 第 2 部 ●説明 「つみたてNISA」と実践的な投資教育教材について 説明者 金融庁企画局政策課 ●基調講演 ライフプランに基づいた資産運用の考え方と NISA や iDeCo を活用した資産形成方法 講演者 神戸 孝 (FPアソシエイツ&コンサルティング株式会社代表)
場 所	大阪国際交流センター 2階小ホール
主 催	金融庁・近畿財務局
後 援	文部科学省、厚生労働省、金融広報中央委員会、NISA 推進・連絡協議会、大阪府、大阪市、大阪府金融広報委員会

シンポジウムの模様

【第1部基調講演の模様】

さまざまなメディアやセミナーでご活躍されている 深野康彦氏 から、「今知っておきたいお金の話 副題：資産形成の必要性」を講演いただきました。私たちを取り巻く経済環境の変化を、身近な事例を交えながらお話しされ、なぜ「やっぱりこれからは投資するのが大事」なのかを、わかりやすく解説いただきました。

【第2部説明・基調講演の模様】

金融庁総務企画局政策課本田課長補佐からは、家計資産の安定的な成長に役立つ長期・積立・分散投資を税制面から後押しする「つみたてNISA」、その実践的な投資教育教材、そして職場での普及を目指す新しい取組み「職場つみたてNISA」をご紹介します。

また基調講演では、資産運用の専門家である神戸孝氏から、「ライフプランに基づいた資産運用の考え方と NISA や iDeCo を活用した資産形成方法」を講演いただきました。独自の定義で投資スタイルを分類され、長期・積立・分散投資にふさわしい商品選びや判断指標などを示さ

れました。最後にこれから資産形成される皆様へ熱いエールを送り、まとめていただきました。

【第1部基調講演の様様】



【第2部金融庁説明の様様】

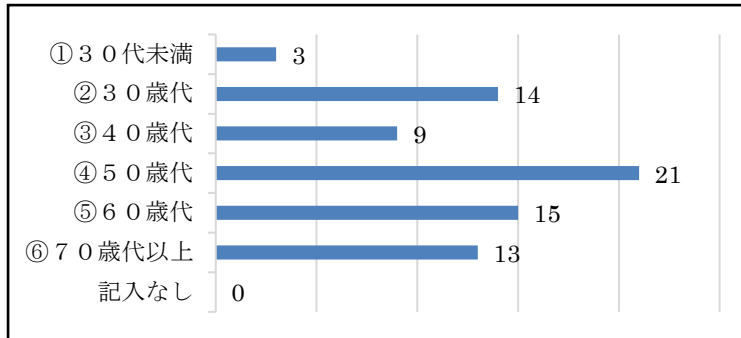


【第2部基調講演の様様】

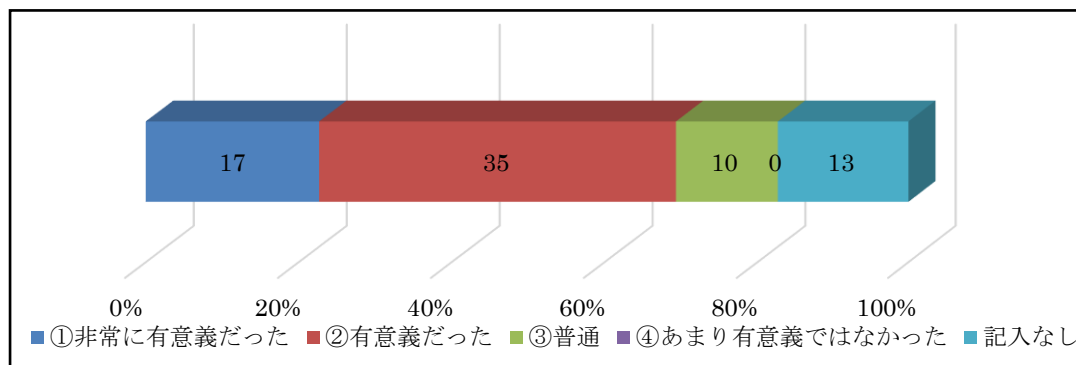


シンポジウムアンケート結果

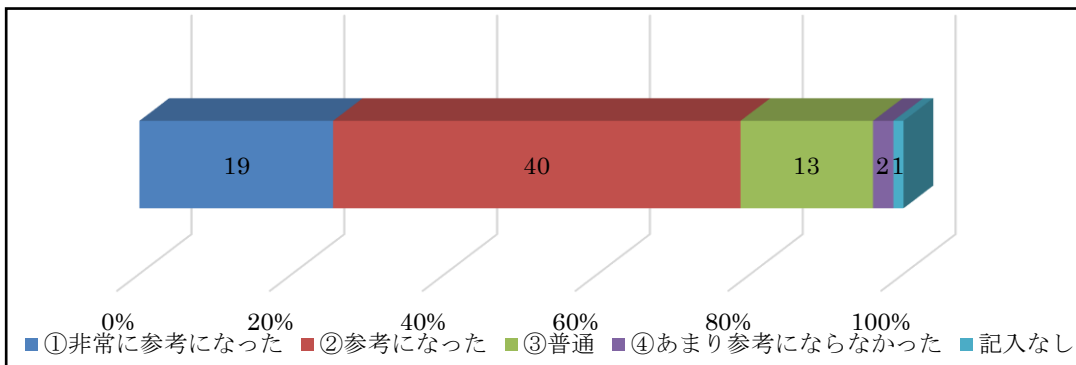
1. 年齢構成



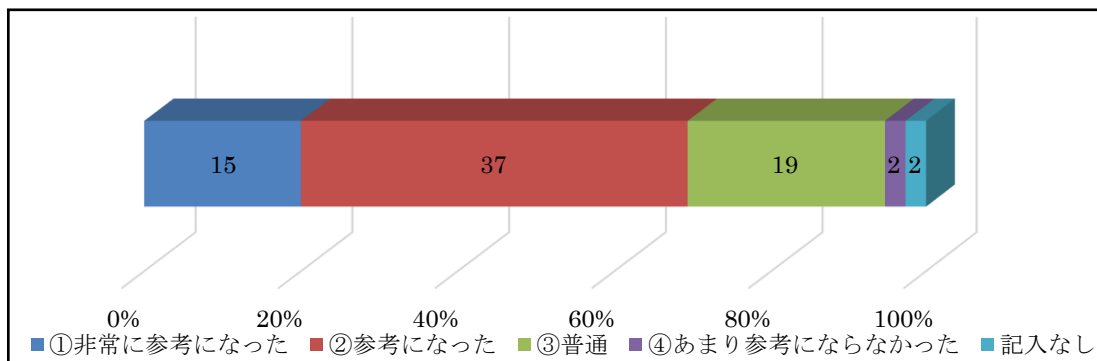
2. 本シンポジウムの全体構成について



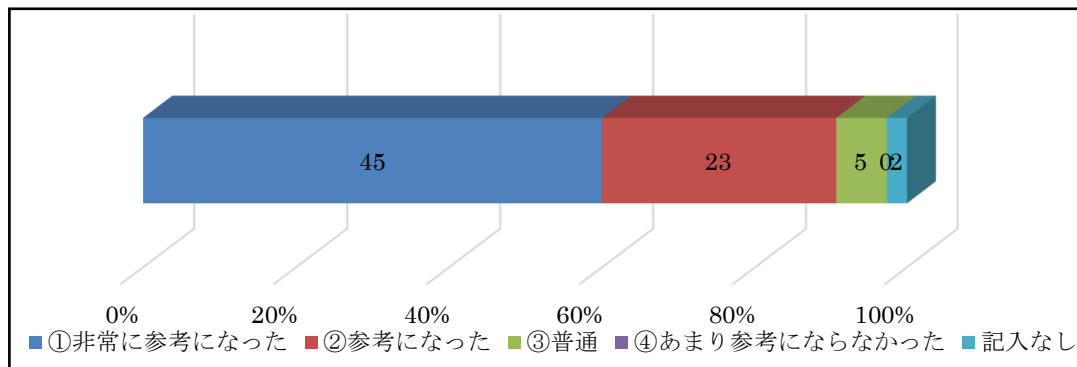
3. 第1部基調講演の内容について



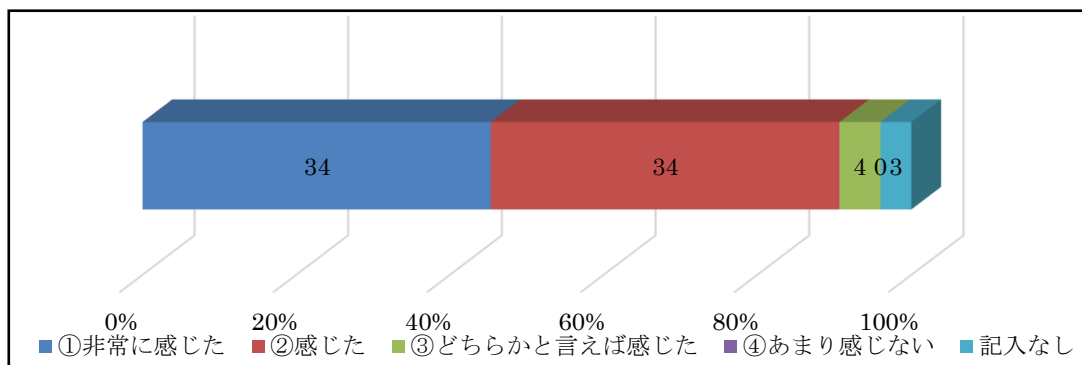
4. 第2部金融庁の説明の内容について



5. 第2部基調講演の内容について



6. 本シンポジウムに参加して、金融経済知識習得の重要性を感じたか



7. ご意見・ご感想

主なご意見・ご感想は以下の通りです。

- ・ 総論から各論へ。わかりやすい構成であったと感じた
- ・ 難しい話かと思いましたが、身近な例（ちくわや納豆、リーマンショック後の給料の話）が組み込まれていたのでおもしろかったです
- ・ 現役世代の取り巻く環境は厳しいがやるべき事は用意してくれていると感じた
- ・ 資産形成というと老後のためという意識になりがちだが「近い将来にウエイトを置いて」という言葉を聞いて、業務上でも積極的に案内していきたいと思いました。
- ・ 時代背景をふまえて、資産形成、その方法（ライフイベント表など）の基礎的なことを学べた。
- ・ 職場つみたてNISAに期待できる
- ・ 金融庁が投資機会、教育に力を入れていることが認識できた
- ・ 金融機関の顧客本位の業務運営の必要性が再認識できた
- ・ 資産運用の基本的事項がわかりやすく説明されていた
- ・ 気づきが多くありました。早速行動に移したいと思います
- ・ 投資への本質は成長という言葉がとても気に入った
- ・ 金融リテラシーを身につける必要性を感じた
- ・ 若いうちに準備しておく事が将来安心した生活が過ごせるとつくづく感じた
- ・ 投信の考え方が変わった。ぜひ自分も始めたいと思った
- ・ 時代の移り変わりに合わせて自分たちの置かれている状況も踏まえて、なるべく早く動き出さないと行けないと実感しました
- ・ 何もせずに将来の自分が豊かになるとは思えないと感じた。まず自分のライフプランを考えるべき